



映画はいつも世界を開く扉。

男が人生かけて 夢をかたちにする。 その道にドラマあり!

男には時に人生を賭けて、夢をかたちにしようとする瞬間が訪れることがあります。人生を賭けているからこそドラマになります。映画はそういった男のドラマを数限りなく描いてきました。例えば、イブ・モンタン主演の『ギャルソン!』では、子どもたちのために海辺に遊園地を作ろうとします。様々な女性と恋の駆け引きをしながら、遊園地づくりに精を出しますが、完成間近に本命の彼女に振られてしまいます。

いっぽう『海辺の家』の

ケヴィン・クラインは、余命数ヶ月を宣告され、息子のために、新たな家を建てようとしています。家づくりを通して、反抗期の息子だけでなく、別れた妻との絆をも取り戻そうとする父親の姿がドラマティックです。

これら映画の中の男たちは、夢をかたちにしようとする中で、何かを失い、何かを得ます。人生を賭けたこうしたドラマに出会うことこそが映画を観る醍醐味ではないでしょうか。

▼ 上村 敬 (代官山 萬屋書店
シネマ・コンシェルジュ)

GARÇON!



【ギャルソン!】

'83年、フランス。監督：クロード・ソーテ 出演：イブ・モンタン、ニコール・ガルシアほか レンタル中。

写真提供・巴里映画



【海辺の家】

'01、アメリカ。監督：アーウィン・ウィングラー 出演：ケヴィン・クライン、ヘイデン・クリステンセンほか レンタル中。

